



学校通信

夕陽丘 第29号



【校長挨拶】

一灯照隅

校長 杉山 友重



私の好きな言葉の一つに「一灯照隅」という言葉があります。大阪出身（四条畷中学一現 府立四條畷高校）で第二次世界大戦後の日本の政治の指南役でもあった安岡正篤氏（故人）の言葉で、ご自身の講演や著書の中でよく使われています。

1本のろうそくの火は決して明るいものではありませんが、その光でも自分の身の回りや片隅を明るく照らすことができます。それが一つ、二つ、三つと増えて、万人が照らすようになればあまねく世界を明るくすることができるという意味です。

言い換えれば、全てのはじまりは一人ひとりの小さな行動から始まり、その行動を誠心誠意続けていけば、必ず共鳴する人が現れて大きなうねりとなるということ、一人ひとりの行動がいかに大切であるかということを表しています。

皆さんにも「一灯照隅」の精神でこの夕陽丘高校のために何か行動をおこしてほしいと思っています。夕陽丘高校をさらに素晴らしい学校にするために、一人ひとりが当事者意識を持って夕陽丘高校を変えていってください。アメリカ合衆国第35代大統領ジョン・F・ケネディの大統領就任演説の有名な一節のように、学校が皆さんのために何かしてくれるのを期待するのではなく、皆さんが学校のために何ができるかを考えてください。皆さんが学校の主人公です。夕陽丘高校にも改善すべき点があります。例えば「授業を受ける姿勢はどうか」、「校舎内の清掃は行き届いていますか」、「あいさつは励行されていますか」などは学校生活を送る上で大切なことばかりですが、残念ながら十分とは言えません。身の回りの小さなことにまで注意を払ってください。いろいろなことが見えてくるはずです。

フジ (*Wisteria floribunda*)

さて、初夏の暑さを感じるくらいの気候になりました。今年は3月になっても寒い日が続き、そのおかげで例年なら4月初めには散っていた桜が入学式を待っていたかのようにその日に満開となりました。春からそして初夏。中庭のいろいろな草木が順番を待っているかのように次々と花を咲かせています。ウメ、サクラ、ユキヤナギ、レンギョウ、カリンが咲き、これからツツジがあざやかに咲き揃います。2年前の清香会（同窓会）100周年記念に植樹されたフジの花も藤棚を飾るように咲き誇っています。自然を愛でる楽しみも知ってください。

そこからいろいろなことが見えてくるはずです。

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

【第三学年】より

本気の一年

学年主任 草間 義彦

「風かんじる65期」の高校生活も残すところ1年となりました。65期生の皆さん、2年前の合格者説明会の時に、夕陽丘高校の教育方針にある「豊かな情操と気品ある人格の育成」を深く理解してもらう為に、「気品」と「情操」について調べ、「自分なりの解釈を下さい」という宿題をだしました。覚えていますか。その時に提出してもらったものを紹介します。

「気品とは、振る舞いや話し方、ちょっとした動作が丁寧で優しく、内面の美しさがあふれる様子の事。心が美しく、人を思いやることのできる人に、当てはまる言葉だと思います。」

「情操とは、学問の中で学ぶことはできないが、生きていく上で最も大切なものだと思います。豊かな心は、充実した生活を送るうえで育ち、目には見えない「人の心」を感じたり、相手の気持ちを理解することが出来る心ではないかと思います。」

これは、学年スローガン「風かんじる」の基本的精神です。最後の1年間、今一度この言葉を行動の基本において過ごしてほしいと思います。

さて、最終学年の3年生は進路実現へ向けた重要な1年です。高校卒業後の進路は、これから歩んでいく人生の大きな分岐点となります。真剣に考え、真剣に努力しなければいけません。そこで、3年での学年スローガンを「夢叶えるための本気の1年」としました。本気になって取りかかれないと、夢は現実になりません。本気になるということは、「誘惑に惑わされない」「時間を無駄に使わない」「集中して物事を考える」「力の出し惜しみをしない」「あきらめない」ということ。中途半端な思いでは、とうてい前へは進みません。1、2年の時なら、「ちょっとずつ始めよう」とか、「出来るところからやってみよう」で良いのかもしれませんが、3年のこの時期は、確実で、大きな一歩一歩が必要です。

宮城県・南三陸町で震災の被害に遭いながらも営業を続け、被災者に避難所として施設を提供した南三陸ホテル観洋の女将の安部憲子さんは「私が感じていたのは、『一歩でもいいから前へ』なんていう思いでは、簡単に後退するか、その場に沈みこんでしまうなど。それほど現実は厳しいものでした。『百歩でも二百歩でも』という思いで、ようやく一歩、二歩前進できる。若い従業員たちにも『気持ちを強く』と言いつけましたが、誰かが何とかしてくれるという思いでは、とても前に進むことはできません。」と話され、新たな南三陸町の復興へ向けて歩んでおられます。

「百歩でも二百歩でも」という気持ちを持ち、本気になって努力をすれば、夢実現に大きく近づくことになるでしょう。

しかし、この一年は平坦な道のりではありません。引退へ向けた部活動や最後の学校行事、そして受験へのとりくみ。うまく進まない苛立ちや周囲が決まっていく中での焦りなど悩むこともあるかと思います。こんな時は、友達やクラスの仲間、周りの支えが大きな力となります。一人で戦わずに、保護者の方やわれわれ教員も含めた「チーム65期」で乗り越えていきましょう。

「人を思いやる心」「相手の気持ちを理解する心」、さあ「風かんじる65期生」の力の見せ所です。

【第二学年】より

精力善用・自他共栄

学年主任 岩元 健

66期生も2年生となり約1ヶ月が経過しました。先日の校外学習では、クラス単位で二色の浜や淡路島、京都嵐山へ出かけ、バーベキューやレクリエーションなどを楽しみ、新しいクラスでの親睦を深めてくれたことと思います。この芽生えた和を大切にこれからの1年間の活動を有意義なものにして欲しいと思います。

さて、標題の「精力善用・自他共栄」という言葉ですが、これは講道館柔道の創始者、嘉納治五郎先生の説かれた柔道の理念です。「精力善用」とは、心身の持つ全ての力を有効に最大限に生かして社会のために、善い方向に用いること。「自他共栄」とは、相手を敬い、己の技を磨かせてくれた相手に対し感謝をすることによって、相互を信頼し助け合う心を育み、己だけでなく他の人と共に栄えある世の中を築いていこう意味です。嘉納先生はこの理念によって、柔道を通して人間形成を行い、世の中に役立つ人材を育てることを考え、柔道を国内はもとより広く海外に普及させました。(因みに、この理念は嘉納先生も設立に関わった旧制灘中学、現在の灘中学校・灘高校の校是となっています。)

この理念は別にただ柔道だけに当てはまるのではなく、日々の生活にも応用されるべきものでしょう。人が何かを成し遂げるには、目標が先ず必要ですが、その目標を達成する為には、心・知恵・体を最も効率的に働かせることが必要です。また、それが自分独りよがりのものであれば誰も協力してくれないでしょう。他の人も共に栄えるものであることが望ましいでしょう。

人生を、社会に出るまでの修養時期と社会へ出て様々な活動をしていく時期に大きく二つに分けて考えると、高校生の間・学生時代は將に修養の時です。自身の進路実現に向け努力することも大事です。様々な活動・行事を通じて友情を深め、自己の可能性を開いていくことも大切です。修養時期である高校生活をこの夕陽丘で、心身の力を最も有効に活用して、自己を完成させ、そして、活動時期を迎えたとき、社会に貢献できる人材と育ってくれることを期待します。



【第一学年】

「自学自習の意義をつかみ取れ」

学年主任 諸正 邦彦

67期のみなさん、入学後最初の学校（学年）行事である宿泊研修を終え、自らの課題を発見し自ら学ぶ「自学自習」するとはどのようなことなのかを身をもって学ぶことが出来ましたか。入学式後の緊張した連続のなか、授業はみなさんが理解しているか否かを問わず進んでいきます。学習内容も中学校の復習的なものから次第に高校のレベルになってきています。そうした日々の授業を自らのものにしていくためには、自ら学び自ら学習体験する必要が不可欠です。今回の宿泊研修はそのことを学び、自らの学習姿勢と他者との学習姿勢の違いを比べ、改めるべきところ、見習うべきところに気づき改善し一歩でも二歩でもより良くを目指して努力し頑張ってもらいたいとの願いを込めて敢えて自学自習に特化して行いました。みなさんはこの研修で何を学んだでしょう。今回の宿泊研修を無駄なものとしなないためにも自省し自らの学習態度の確立に努めて下さい。自ら学ぶ姿勢確立が日々の授業を大切にすることにつながります。日々の授業は「一期一会」の授業です。45分の授業が終わればもうその授業を二度と聞くことは出来ません。人間に最も平等に与えられているものが「時間」です。しかしその「時間」は二度と戻すことが出来ないものです。私たちはこのことを当たり前のように何の疑いもなく日々過ごしていますが、冷静に客観的に考えてみれば、この二度と戻らない「時間」こそ最も貴重なものと気づくはずで、気づけばその「時間」をどう過ごさなければならないか、自ずから見えてくるはずで、

今回の宿泊研修を生きた価値あるものとするのか、無為なものとするかは、みなさん一人一人の自らの生き方に対する人生観にかかわってくることを知って欲しい。

古代ギリシアの哲学者ソクラテスは「単に生きるのではなく、善く生きる」と言っています。私たちはこのソクラテスの言葉のような生き方をしたいと思う。そのためにも与えられている貴重な時間を大切に「善く生きる」ために自らを甘えさせることなく自己の内なる世界を鍛えていかなければならないと思う。自らの内なる世界を鍛えることはたやすいことではないけれど、私たちは宿泊研修で「集中」することの大切さを学んだはずで、集中し学ぶことは本当に大切なことです。前述のソクラテスは「無知の知」ということを折に触れて訴えています。私たちの持っている知識はそれ自体、絶対のものではなく真理に対して謙虚になり向学心を持って貪欲に学び、知らない世界を知り、自ら生きる糧を蓄積していかなければならないし、その端緒をつかむための研修でした。今後の生活に是非、活かして欲しいと思います。

日常生活で心がけて欲しいこと、「日常六心」です。

- 「はい」という素直な心
- 「私がします」という奉仕の心
- 「有り難う」という感謝の心
- 「すみません」という反省の心
- 「お陰様」という謙虚な心
- 「他者」を受け入れ認める慈愛の心

保護者のみなさまには、本校入学後のお子様の様子はいかがでしょうか。入学式後のオリエンテーションにて申し上げましたが、学校での様子を是非お聞き頂きたいと思っております。通学、健康、学習、交友関係等全てが変わった新しい環境での日々は緊張の連続であると思っております。その緊張をほぐすことが出来る場は何と言っても家庭だと思っております。学校での様子を聞かれ学習に対する後押し等、ご家庭の方でもよろしくお願い致します。また、何か気づかれましたら、学校に連絡をお願い致します。家庭と学校の連携をはかり迅速に対応したいと思っております。67期担任団、全職員でお子様の3年間を支援していきたいと思っております。どうか、ご支援ご協力を何卒よろしくお願い致します。

【進路指導部】

2012(平成24)年3月度 入学試験合格状況 (普通科7クラス、音楽科1クラス)

** 国公立大学 **

普通科	現	浪	計
神戸大学		1	1
大阪教育大学	2	1	3
京都教育大学	1		1
奈良教育大学		1	1
高知大学	1		1
和歌山大学	2		2
琉球大学		1	1
三重大学		1	1
岡山大学		1	1
大阪市立大学		1	1
大阪府立大学	1		1
奈良県立大学	1	1	2
兵庫県立大学	1	2	3
計	9	10	19

** 主な私立大学 **

普通科・音楽科	現	浪	計
関西大学	75	11	86
関西学院大学	27	2	29
同志社大学	24	5	29
立命館大学	18	6	24
近畿大学	107	39	146
龍谷大学	42	0	42
甲南大学	10	1	11
京都女子大学	4	2	6
同志社女子大学	22	2	24
武庫川女子大学	26	1	27
京都外国語大学	9		9
関西外国語大学	8		8
畿央大学	9		9
摂南大学	4	3	7
桃山学院大学	6	1	7
関西福祉科学大学	12		12
大阪経済大学	19		19
大阪音楽大学	9	2	11
大阪芸術大学	5		5
四天王寺大学		5	5
相愛大学	4		4

音楽科	現	浪	計
東京芸術大学	3		3
大阪教育大学	6		6
京都市立芸術大学	2	1	3
愛知県立芸大	3		3
鳴門教育大学	1		1
大阪市立大学		1	1
計	15	2	17

** 主な短期大学と専門学校 **

普通科・音楽科	現	浪	計
武庫川女子大短大部	2		2
大阪キリスト教短大	2		2
国立大阪医療センター看護学校	1		1
大阪警察病院看護専門学校	2		2
大阪赤十字看護専門学校	1		1
E S A音楽学院	3		3
高津理容美容専門学校	2		2

今年度は主要私立大、関関同立の延べ合格者数が前年度比で43%増加、近大龍大が35%増加しました。また現役生の実合格者数でも上記の大学は昨年度の約5割増となりました。

国公立大に関しては、普通科、音楽科あわせての現役合格者は24名と昨年を大幅に下回りましたが、浪人を含めると36名に達し、昨年には及びませんでした。ここ数年では2番目の数字となりました。

今年も、後期入試まで頑張って志望校に合格したという人が何人もいます。国公立大でも何名も後期入試で合格しました。すべての科目にわたって最後まで授業を大切に地道に努力した現役生は1月以降もさらに学力が伸びるという傾向がはっきりしています。また国公立大合格者の多くは遅刻欠席がなく、きちんと最後まで学校生活を送り、予備校等を利用せず、学校の授業、講習を中心として頑張ってきた生徒でした。1・2年生も、授業とその予習復習がそのまま受験勉強になっているということを知ってほしいと思います。

【保健部】

Do you know 「あおぞら」？ —相談したい人は保健室へ！！—

2012年度が始まり、一ヶ月がたとうとしていますが、順調なスタートでしょうか？

今年の春はいつまでも肌寒い日が続きましたが、4月下旬にはいきなり初夏のような陽気になってきました。春嵐を思わせる突風があったり、東北地方ではいまだに地震が続いています。季節はずれのインフルエンザの発症も重なり、体調が安定しない上に新しい学年・クラス・仲間・教室・勉強など、周囲の環境が大きく変化し、戸惑いを感じていませんか？

今年も「あおぞら」は健在です。あなたと一緒に問題解決法を考えていきます。

<stress 発散を上手にしましょう>

保健室へ入って来る人の多くが「しんどい」と言いながら入ってきます。腹痛や頭痛、吐き気、食欲不振、倦怠感などの身体症状全てをまとめた便利な言葉です。まず第一に、内科的なものが原因でないかを考えますが、同時に「気持ちのしんどさはないか？」考えてみましょう。stressfulな現代社会です。Stress を上手に発散することが出来たらもっと楽になりますよ。1日1回自分の好きな時間を持つことが大事だと言われています。好きなこととは、音楽を聴いたり、読書であったり、人それぞれ違うと思いますが、手軽な方法を見つけて、その日の stress はその日のうちに発散できたらいいですね。気持ちのしんどさが身体のしんどさを通り越して、病気にならないようにしたいものです。「もっとがんばらないといけないのに、出来ない自分はダメな人間です」ではなくて、少しずつ着実に前進していけばいいのです。

<学校は社会生活の練習の場でもある>

人は一人では生きていけないのです。誰かと関わって、衝突したり、お互いに話し合うことで相手への理解を深め、仲間として支えあっていけるのです。学校は、社会という大きな集団へ出て行く練習の場です。同じ夕陽丘高校の生徒として、もし自分がされたら嫌なことは、相手も嫌なのです。相手の立場に立って、自分の行動を考えることが出来る人間になって欲しいものです。あなたにできることは何かをよく考えて行動してください。

<「あおぞら」が大切にしていること>

* そうなんだ！なるほど・傾聴に勝るものなし

まだまだ大人になりきれていない幼さを感じる人が多いのですが、真剣に生徒の「想い」に耳を傾けることを大切にしています。

* 生徒の姿は多面体！ ご家庭との連携こそが支えです！

この「あおぞら」の存在も知られるようになり、保護者の方からのお話も聞かれるようになってきました。家で見せる表情と学校で見せる表情とが違っていることもあり、生徒をより深く理解する上でとても参考になります。家ではしっかり兄弟の面倒を見てくれたり、クラブ活動ではリーダーシップを取っていたり、様々な実態がありますが、全て生徒の実態です。まずは、ご相談をお待ちしています。

* 話すこと（カタルシス）から一步前進！

「あおぞら」で話をしたからといって、悩みがすぐ改善されるわけではないけれど、自分の悩みや困っていることを他人に話せたという勇気は、今後のあなたの自信になることでしょう。結果は後からついてくるものです。

「あおぞら」では、生徒一人一人が前を向いて自分の信じる道を歩いていけるよう、陰ながら応援をしていきたいと思っています。

* 箱庭を置いています。興味のある人は来てください

【音楽科】

♪ 普通科・音楽科併設の特色を最大限に活用しよう！

本校は府内で唯一、普通科と音楽科を併設した公立高校です。音楽科が設置された背景には、昔から夕陽丘では音楽活動が非常に盛んであり、音楽関係の分野で活動している諸先輩方が多くいらっしゃった、ということがあります。普通科・音楽科を問わず、授業や部活動など、現在も校内が音楽で活気づいているのは嬉しいことです。

本校では、年間を通して様々な音楽関係行事の案内を行っていますが、音楽科だけの行事がほとんどだと思っている人も多いのではないのでしょうか？ いえいえ、そんなことは全くありません。夕陽丘の生徒であれば誰でも参加可能という行事が、実はたくさんあるのです。次に挙げる行事も皆さん参加することができますので、遠慮なくトライしてみてください。

♪ 今後の行事予定（ヴィオーラホールにて）

- ・6月9日（土）第150回ピッコロコンチェルティスタ（学内演奏会） 12:00～
*聴きに行くことはもちろん、出演も可能です（音楽担当教員と要相談）。
*申込締切は5月15日（火）17時です。
- ・6月11日（月）特別公開講座「ミニコンサートとピアノ特別レッスン」 15:45～17:45
講師：ヴァチェスラフ・グリャズノフ氏（ピアニスト）
*約30分のピアノ・ミニコンサートの後、音楽科生徒2名がレッスンを受講します。
*ミニコンサートのみの聴講も可能です。申込不要ですのでご自由にお越しください。

【国際交流委員会】

「学びの姿勢を大切に」

67期生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

夕陽丘高校では様々な国際交流活動を積極的に行っています。

今年度はニュージーランド英語研修とウィーン音楽研修を実施します。また、先日案内しましたキズナプロジェクトを通してニューヨークから23名の高校生の来校も予定されています。加えて中国からの留学生も熱心に勉学に励んでいますし、ハワイのプナホウ高校とのテレビ会議も実施されます。

これからの時代は多様な文化背景を持つ人々と接し刺激を受け、同時に自らも積極的に発信することを求められる時代です。夕陽丘高校で学びの姿勢を培ってほしいと思います。

保護者の皆さまにはこれからも本校の国際交流活動に対するご理解ご支援をお願いいたします。



今年度の予定（平成24年4月現在）

7月10・11日	ニューヨークから23名の高校生来校
7月21日～	ニュージーランド英語研修
11月	66期グアム修学旅行
平成25年3月	ウィーン音楽研修



【部活訪問】 ★ ★ワンダーフォーゲル部★ ★

平成23年度活動記録

6/5 大阪高体連岩登り講習会参加、7/16 夏山合宿訓練(金剛山)、7/22~23 大阪高体連夏季登山大会参加、7/29 夏山合宿訓練(生駒山)、8/3~6 夏合宿(北アルプス、立山)、1/28~29 登山技術講習会参加(生駒山)、2/11~12 京都北山雪中中山行、3/17 矢田丘陵全山縦走ハイキング

平成24年度活動

5/3~4 新人歓迎登山(大津市湖南アルプス)

《今後の予定》

5/12~5/13

大阪高体連春季登山大会

6/3 岩登り講習会

7/21~7/22

大阪高体連夏季登山大会

8/3~8/7

夏合宿 上高地・穂高岳



矢田丘陵ハイキング



2/11~12 北山雪中歩行訓練

今からでも遅くありません興味のある人は
地学準備室の三上先生まで申し出てください。

【今後の日程】

5月10日(木) 検尿	●	6月1日(金) 体育祭
11日(金) 6・7限 授業参観	●	2日(土) 3日(日) 体育祭予備日
PTA総会	●	5日(火) 6日(水) 教室ワックス塗布
16日(水) 午前中授業	●	17日(日) 天高戦開会式
17日(木) ~22日(火)	●	18日(月) ~22日(金) 懇談週間
第1中間考査	●	7月3日(火) 午前中授業
23日(水) 防災訓練	●	4日(水) ~10日(火) 第2中間考査
28日(月) ~6月15日(金)	●	13日(金) 午後 芸術鑑賞
教育実習	●	20日(金) 夏期休業前集会・大掃除
	●	21日(土) ~8月4日(土)
	●	ニュージーランド語学研修

夕陽丘セミナーの開催日(1・2年生対象の自主勉強会)

5月12日 26日 6月16日 23日 30日の土曜日
9:00~16:30 学夕会館において

【編集後記】

- ☆ 新学期も始まり連休も終わり、本年度も丸1月が経ちました。ちょっと学校生活にも慣れ、ダレてはいないでしょうか？
- ☆ 最近、身の回りのゴミは気になりませんか？見かけて、心が痛みます。周囲に気を配り、気を引き締めて、今年1年みんな頑張らしましょう。
- ☆ **ハンケチの赤く染みたるいちご哉** 正岡子規
春先になんだか胸のキュンとなる句ではないでしょうか？

